栄光を称えて

団体・個人とも制覇

ふたば未来学園高等学校 3年 水井 ひらり ~支えてくれる誰かのために~

今年は、私たちにとってチャレンジの1年でした。先輩方の成績がプレッシャーになることもありましたが、「自分たちは自分たちの勝負をしよう」と考え、日々練習に励みました。今年は男子のインターハイ出場が叶わなかったので、女子が男子の思いも背負いつつ大会を迎えました。初戦から厳しい試合が続き、負けそうな場面もありましたが、カー杯応援してくれる男子や保護者の方々を見たら、「簡単には負けられない」という思いが強く湧き、カを出し切ることができ、女子団体と女子シングルスで優勝することができました。このような成績を残せたのは、仲間同士の絆や、多くの方々の支えが私たちを後押ししてくれたからだと思います。今後もバドミントンをやれる環境への感謝の気持ちを忘れずに、たくさんの方々に応援されるチームになりたいと思います。



第69回全国高等学校バドミントン選手権大会 集合写真

個人優勝 会津高校ボート部

福島県立会津高等学校

端艇(ボート)部

門馬 健将

~僕ができる、復(必ず)興(立ち上がる)~

小学生の時に南相馬から会津に移住、高校ではボート部と決めていました。自身3度目の全国大会である高校総体は、優勝のみを見据え臨みました。

準決勝後、付き切りで対応して下さった先生方、応援に来た家族の声、チームメイトからのメール、全国大会の決勝は、自分に用意された舞台であるかのように思え、決勝の直前、この1本で総体が終わることに淋しさを覚える程でした。スタートで飛び出し、苦しいレース展開を凌ぎながら、1着でゴールに飛び込んだ瞬間、東日本大震災の悲劇、自身の故障に悩まされた時期を経て、「自分は恵まれていた」、「努力が報われた」という気持ちが同時に溢れてきました。表彰台の上に立ち、先生方、OB方々、家族、親戚、チームメイト、南相馬と会津の知人からいただいた沢山の励ましの言葉、そして喜ばせたい人がいたから、辛い時期も心折れずに練習ができたと強く実感しました。これまで、有り難うございました。最高の高校生活の思い出を手に入れました。



ガッツポーズをする門馬君

快進撃 いわき海星高校野球部

いわき海星高校野球部

平成30年7月7日、「第100回全国高等学校野球選手権記念福島大会」が行われました。いわき海星高校は、4年ぶりに初戦を突破し、準決勝まで快進撃を続けました。準決勝では 王者聖光学院に2-3で惜しくも敗退しましたが、選手全員の成長を感じる大会となりました。

いわき海星高校は、福島県唯一の水産・海洋系高等学校であり、2ヶ月間の遠洋航海実習に 行くため野球部員が大会に参加できず少人数のまま試合に臨むことがあります。そのため 夏の大会は選手全員が揃い戦える貴重な時間であり、学校、野球関係者の方たちから温かい 声援をいただいております。

今年度のチーム目標は「応援されるチーム」を目指し、選手一人一人が自ら考え、努力を重ね頑張ってきました。選手達は日々の生活習慣から見直し、地域に貢献できるようゴミ拾いやボランティア活動を続けました。そして今大会多くの人たちの声援を球場の内外から受け、いわき海星高校にとって忘れられない瞬間へ導かれたと自負しています。今後も地域に貢献し、飛躍していけるよう頑張っていきます。



いわき海星高校野球部 集合写真

郡山高校合唱部 2冠に輝く

福島県立郡山高等学校合唱部 部長 2年 佐藤向日葵 ~NHK 全国学校音楽コンクール、全日本合唱コンクール2冠に輝いて~

私たちは輝きのある凜とした透明感のある響き「輝凜透(かりんとう)」をモットーに活動しています。今年度は、NHK 全国学校音楽コンクール全国コンクール、全日本合唱コンクール全国大会の二大会において日本一に相当する賞をいただくことが出来ました。

この一年を振り返ると、「楽しかった」の一言に尽きます。もちろん、幸せなことばかりではありませんでしたが、それらを乗り越えて得た喜びはとても大きなものでした。共に頑張る仲間は私の中で大切な存在であり、仲間がいてくれたからこそ私も頑張ることができました。

大会に向けての練習では、音楽を体感するために歌いながら踊ったり、歌詞の意味を考えて 意見を共有したりと、様々な工夫を試みました。楽しみながら練習に取り組み、全員で音楽 を創り上げたことが今年の最大の特徴であると思います。時には意見がぶつかることもあ りましたが、その度に話し合い、仲間と助け合いながら自分たちが納得できる音楽に辿り着 くことが出来ました。

昨年は先輩方の背中を追いかけ、学ぶことがとても多い一年でした。学んだことを今後の活動に生かし、ご支援いただいている方々への感謝を忘れずにさらに精進していきたいと思います。



全日本合唱コンクールにて